

## 永久アンカー工法 技術講習会開く

VSL協会

VSL協会(田中茂義会長)は10月28日、永久アンカー工法の技術講習会を札幌市中央区のTKPガーデンシティ札幌駅前で開催した。写真。



約80人が参加し、注入パイプ1本で内外のグラウト工が可能なSP型永久アンカーの技術について学んだ。講習会は地盤工学会認証のCPDポイントの対

象。

冒頭あいさつした田中会長は道内でのVSL工法の導入実績を紹介し、「グラウトアンカー工法の一般的な定義と、VSL永久アンカー従来型との違いについて講習会を通して理解を深めてほしい」と述べた。

引き続き、協会のアンカー部会技術委員によるVSL永久アンカー工法の説明が行われた。

講習会後には京都大学大学院工学研究科の杉山友康教授による特別講演「最近の豪雨による斜面災害の特徴とこれからの斜面防災対策」が行われた。

VSL工法は、PC(プレストレストコンクリート)構造物のくさび定着工法の一つ。

このうち永久アンカー工法では材料的・構造的に長期にわたって耐久性が見込まれていることに加え、注入パイプ1本で内外のグラウト工が行えることが特色。削孔径の細径化を図ることで、コストの縮減が可能となる。